

ものがたり

第二百七十八話

前田屋 4-4
 前田屋 03-3790
 昭和3年8月発行

みはさん、こんな日は、
 ちよと涼しい日がありまして、またまた暑い日は続きますよ、
 フクチン、接種が進む中、第五波が大きくなるといいます、
 長岡でも多くの感染者が出ており、心配な日々が続きます、
 年末には忘年会や新年会、お正月を迎えたいという方も、
 いたので、予約がとれず、又、得考えであります、飲食店の営業
 は、本心に心配です、二回目、時短要請が来たらどうする
 どうすればいいんでしょう、もう飲食店はやめたいというの
 あります、お参りの居酒屋さん、
 ほんとの力になってあげたいのです、



朝、新聞を取り外に出ると
 二人の女の子の店の前に行きます
 なにやら白い袋にゴミをひろって
 きれいにします、おはよう、エミちゃん、
 くれてありがとう、ありがとうね、
 「はい、いそいそと、おはよう、おはよう、
 もしかした、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 歩いて行きます、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 コロナ禍で旅行や楽しいイベントなど行けず、夏休みも終わ
 ります、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 んだ、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 町内、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 気がたり、真相が知りたくなり、追いかけてみた、おはよう、
 ました、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 ぶらコンテア活動、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 感謝状が何人だとか、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 クラスタ、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 さん、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、
 りした、おはよう、おはよう、おはよう、おはよう、

久保田千寿

秋あがり

2200ml
 1,595
 (2)円
 9月 均 本 売

秋の季節商品「久保田千寿秋あがり」のご案内です。冬は仕込んで
 久保田千寿の原酒を秋まじりに熟成させ登場です。1月に発売
 しました「久保田千寿吟醸生原酒」と熟成に「言葉変化」をお楽しみ下さい。
 千寿なうま味のキレとやわらかな酸味、常盤とまろ、こーと口当たりと旨味、
 原酒火入れ。アルコール14% 九月上旬発売

高千代秋あがり

純粋吟醸
 2,618
 (2)円
 9月 均 本 売

高千代純米吟醸一本又生原酒秋あがり、高千代率口純米吟醸
 秋あがり生原酒の発売です。
 どちらも生原酒のまま、貯蔵、熟成により、まろやかな口当たりと旨味
 が特徴。純米吟醸は日本酒度±とヒロ口の落着いた飲み口、辛口
 純米は14%と超辛口、キリッとした飲み口です。

風土が人と酒を育み

酒は人をのびなく

前田屋